

令和6年度(2024年) 《第14号》

貞香会 会 報



2024 TEIKOKAI Annual Report

不断書香



会長 赤平泰処

昨年は地震、連日の猛暑、台風、水害、それに政情不安。

オリンピックや大谷翔平選手の活躍も忘れてしまうような災害が続きました。

そんな中、会員の皆様の書への理解と今こそという温かい思いが結実して、都美術館での'24貞香会総合書展、国立新美術館で開催された第五十八回貞香書展を盛況裏に終えることができました。また、第六十五回東方書展、七十五回記念の毎日書道展での皆様の健筆振りには頭の下がる思いであります。ご出品ご協力ありがとうございました。所感を述べさせていただきます、従来見られた覇気、意欲的に挑戦している作が高齢化のせいかわ減少し、マンネリ化してきているようです。経験と継続の中に新しい発見がなければ、人を感動させる作品は生まれません。一緒に勉強しましょう。

昭和五十一年（一九七六）年、第十一回貞香書展の東京都美術館（上野）での開催が決まった際、中村素堂先生は喜ばれつても他の借館団体にくみして見劣りするようでは困ると会員を叱咤し、各自の書への学習を促し、精進を期待されました。あの時の素堂先生の心意気に今こそ応えるべきではないでしょうか。私の書斎には「不断書香」という素堂先生の隸書色紙額がかかっています。「書の香りを断たず」は私にとって最も相応しい言葉で、座右の銘です。これは大学卒業時に先生からいただいたもので、日々鑑賞しても飽きることがありません。何とも味わい深く、全体の構成が絶妙です。楽しく心がなごむ作品である一方、意欲的で気魄も伝わり、高い精神が表現されています。

貞香会も今年は創立一〇二年、展覧会もまもなく六十回展です。多くの皆様の期待にしっかりと応えるように心機一転、精進、不断書香で頑張ります。

毎日書道展審査員を経験して



理事長 光 谷 素 仙

「書道」が2026年11月にユネスコ無形文化遺産の登録審査をされる見込みとのこと。書道が世界に誇る芸術として注目が集まれば、改めてその価値を見直す機会が得られそうです。ただ、書道は身近な日本文化の一つだが、江戸時代から行われたとするお正月の書初めの風習も引き継がれてはいるものの、停滞気味で、毛筆および手書きの機会の減少、書道人口減少も相まって種々の課題にも直面している。登録されて国内外で書道の新しい流れが生まれるのか？ 書道ブームが来るのか？ 期待をもって見守っていききたい。

さて今年、第75回毎日書道展の審査員をさせていただきました。審査報告の概要は書範（10月号）に記載させていただきましたが、貞香会の書作品は多くの書道会に認知されてきています。しかしながら、今回大変厳しい結果となりました。入賞点数は主に出品点数、公募作品点数によりおおむね決められます。以前から比較すると出品点数が減り、必然的に入賞点数もそれに応じて減小し、今後もこ

の傾向が続くものと思われます。貞香会が毎日書道展に出品・参画する限りは、有効な何らかの打開策をねる必要があります。貞香会は創立百年を過ぎましたが、このような状況に危機感を感じています。今更言うことではありませんが、中村素堂先生の作品は現在においても斬新さを感じます。今回毎日書道展の「墨魂の群像」に展示されている作品も同様で、心がときめきました。その素堂先生が作り上げた書風・信念を今後も続けてさらに深く学ぶことはもちろん大変重要です。それと同時にうまく言葉で表現ができないのですが、どの書道会も今後進む道を常に模索しています。貞香会では「自分らしさ」を追求する作品、社中外の人が鑑賞して魅力的な「新しい書」を感じさせる作品が生まれることが必要だと思います。

書作品はその時代、時代で少しずつ刻々と変化しています。その時代にあつた書の作風・構成を会および個人で研鑽せねばなりません。もっともっと多くの他の書道会の書展を見、更に深い交流を持ち、書の作風を深く観察する必要があると思います。

原点に戻って、貞香会会員一同今まで以上に懇親を深め、全体が「Team Teiko（貞香）」となってまとめ、社中展はもちろん、毎日書道展、東方書展等の対外展に積極的に参加することにより、一層邁進することを期待いたします。頑張りましょう!!

令和六(二〇二四)年度 貞香会総会報告

令和六年度定期総会が、一月二十四日(水)午後三時より、東京都美術館講堂において執り行われた。

鈴木蓮徑理事が司会進行をとめ、光谷素仙理事長より、「教育部は素晴らしい作品が集まり、今後非常に楽しみにしている。今後教育部の充実を考えていかなければならない。一般公募・会員展は夏の貞香書展、東方書展や毎日書道展の対外展に向けて、貞香会の底力を見せてほしい。本日は審議の程、よろしくお願いしたい。」と開会のことばがあり、総会がスタートした。

赤平泰処会長より、「今回貞香会総合書展の作品は、元気よくまとまっているのではないかと思う。特に新理事は見応えのある作品がそろった。全体的に作品数は減っているが、それならば他の社中に見劣りしない、作品の中身で勝負しよう。まず皆さんの作品への意欲を示すことが大切。また、どの展覧会も、作品傾向は字数が少なくなっている。表現力・構成・筆力などの研究を怠らず、来場者が来年も足を運びたくなるような、常に新しい書の道を求めて書活動に励んでほしい。どうか皆さんで貞香会を盛り上げてほしい。」と挨拶があった。

議題に入る前に、司会より委任状の報告があり、会員数二一九名のうち、総会出席者一四名、委任状提出者一五八名、合計一七二名となり、したがって総会成立と発表があり、議題に移った。議長には、今井泰篁理事が推薦・承認され、議事に入った。

まず、第一号議案の令和五(二〇二三)年度事業報告が根本泰邸事務局長より、第二号議案の令和五(二〇二三)年度決算報告書が加地香泉理事より報告され、長尾泰邨監事より、適正な監査を行った旨の報告があり、一括承認された。

次に、第三号議案の令和六(二〇二四)年度事業計画案が、根本事務局長より、第四号議案の令和六(二〇二四)年度会計予算案が、加地理事より説明され、一括承認された。議題はすべて承認され、滞りなく審議が終了した。

その他、根本事務局長より、展覧会活動を行っている書道団体としては、もっと会員の皆様に総会や錬成会など、貞香会主催の場に積極的に参加してほしいと呼びかけがあった。
最後に、光谷理事長の閉会のことばで締めくくられ、総会が無事に終了し閉会した。

【二〇二四年度役員名】

〔顧問〕	荒木大樹	中村素岳	中村青藍	
〔参与〕	大野宜白	奥山泰嶺	後藤鶴台	中谷春徑
	晝間欽堂	松本宜響	若井香樹	
〔参事〕	柏木南城	加茂泰玄	中村東泉	二木秀蔭
	山根紅樹			
〔会長〕	赤平泰処			
〔理事長〕	光谷素仙			
〔副理事長〕	坪内雪山	根本泰邸		
〔事務局長〕	根本泰邸			
〔事務局次長〕	飯野彩心	鈴木蓮徑		
〔理事〕	飯野彩心	飯野柳釉	今井泰篁	海野蒼秀
	加地香泉	川島栖園	鈴木蓮徑	坪内雪山
	永井静軒	中村香柯	根本泰邸	浜瀬碧水
	半田桃香	光谷素仙		
〔監事〕	大塚澄心	長尾泰邨		
〔評議員〕	秋田谷岱空	石原翠山		
〔事務局員〕	海老原綵翎	小澤茜逕		

鍊成会

2024年2月17日(土)・18日(日)、南浦和の鷺毛堂で鍊成会を開催した。

初日は、講師・赤平泰処先生より「鍊成会では他の人の書き方・姿勢をよく見ること。またこの鍊成会では作品を張って見ることで自分の不足しているところを省みることができる。お互い切磋琢磨して学んでほしい」との挨拶がありスタートした。

始まるやいなや、参加者は事前に書いてきた作品を赤平先生に講評をしていただき、一人一人丁寧に指導を受けて、午前中があっという間に過ぎた。午後は、各々作品を書き込み、お手本を書いていただいたり、何度も講評を受けたり熱心に取り組んでいた。

今年は、コロナが五類感染症に移行されて初めての鍊成会で、関東圏をはじめ静岡や長崎から参加された会員の方もいて、また大正大学書道研究部の学生も参加し、百畳の鍊成会場が活気であふれた。

(小澤茜逕)



赤平泰処先生の指導を受ける参加者



初日の集合写真



中村素岳先生の筆遣いを見つめる参加者



2日目の集合写真

二日目の鍊成会も天候は最高で、講師の中村素岳先生が笑顔で会場に到着。早速に上着をぬいでひと回りして、参加者の作品を見てまわられた。

開講の挨拶を受けて、素岳先生は再び墨の入れ方や筆の強弱・リズムなどの指導をされ、変わらず踊るような筆のさばきで、次々と手本を書いてくださった。また手本書きのあと、何度も参加者の作品を丁寧に講評されていた。

初日・二日目と、講師の先生方の筆の動きを目の当たりにし、この鍊成会でのみ見られる貴重な時間で得した気分になりました。両日とも、講師の先生方の熱心な指導と、参加者の書に対する熱意がひしひしと感じられ、とても充実した鍊成会でした。

(飯野柳仙)

'24 貞香会総合書展

会期 1月20日(土)～1月26日(金)
会場 東京都美術館

貞香会総合書展書範展一般部審査報告 根本 泰 邸

昨年の四月より書範誌の発刊が東京書範社より貞香会書範部に移管されたことにより、褒賞の名称を変更しました。貞香会奨励賞に相当する賞として「優秀賞」、書範社賞・専心社賞に相当する賞として「奨励賞」としました。

本展の審査は、令和五年十二月一日(金)に東京都美術館地下三階第二審査室で、一〇名の審査員によって行われました。出品点数は昨年度より四作品減の一〇作品の出品がありました。

審査方法は、まず挙手による鑑別が行われ、六五%の作品が投票審査対象となります。次に審査対象となった作品に審査員が点数の投票を行い、集計後、得点の上位から出品点数の八%が優秀賞・奨励賞に、同じく八%が特選に、二〇%が準特選、三〇%が秀作に選出され、賞候補作品となります。さらにその後、誤字、脱字、釈文の確認を経て授賞作品が決定されました。

優秀な成績を収められた作品に共通していることは、十分な墨量があること、豊富な練習量により安定感が感じられること、行の流れがスムーズであること、余白の白が美しく見えること、等があげられます。出品をされた各々に改善点、反省があると思います。第五十八回貞香書展には、努力・精進を重ね、より成長された作品の出品をお願いいたします。

(師範部には一二作品の出品がありました、残念ながら貞香会会長賞の選出はありませんでした。)

'24 貞香会総合書展書範展一般部(優秀作品)

優秀賞 星野 玲香

去歲荆南梅似雪今年薊北
雪如梅共知人事何常定且
喜年華去復來 玲香

優秀賞 中上 和美

瘦竹藤斜挂叢苔草亂生
林高風有態苔滑水無聲 和美

優秀賞 山内 俊子

一簾疎雨琅玕書日潤滿
坐清風枕簟早涼 俊子

◎昇格者

2024年度、規定により左記の方が昇格しました。
おめでとうございます。

委 嘱 牛村ひろみ 田杭 敬心 萩原 柊花 原 美鈴

村田 良苑

会 友 小山真裕美 小山 綾香 鈴木 翠鴻 山中 恵理

(会友候補含) 芳田 晏奈 ローゼンフェルド朋子 渡邊 智香

'24 貞香会総合書展 受賞者

一般部 入賞者		優秀賞		奨励賞		原		鈴木		奈良田		渡邊		高田		買		特選		山崎		角田		小森		栗栖		武田		芳田		仲山		準特選		星		大澤		根本		水須		小滝		上田		鈴木		大河内		山口																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
上之段直子	根本 啓子	深澤 幸僊	関本 典子	赤平 桂子	塚本 真浩	田尾紗奈江	石井佳奈芽	高木 唯華	古口 歩佳	大塚可南子	久代 唯月	牛村ひろみ	吉岡 紀子	池上 智子	井上かれん	佐藤 信子	鈴木 翠鴻	遠藤 史江	谷田貝美桜	岡島 愛	仲野 好重	荒井 翔雲	内山 富美	早川 美紗	滋野 綾菜	坂本 美枝	桑原 廣雅	渡邊 彩華	戸崎 勝彦	伊東 快真	菊本 奏音	山崎 明美	永井 泰幸	利根川 啓子	外山 蒼	永井 直子	中川 夢叶	中里 葵	新田 昭雄	根本 心春	野上 遙希	藤池 英華	二村 夏美	松本 千尋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
上野 心音	宮崎 佐保	加瀬 郁実	清水 彩音	山本 和子	山崎 遥	後藤 莉奈	安田 久美	高橋 美子	上原 恭子	折原 まゆ	江浦 蓮	田窪 青蘭	安倍奈穂子	稲野辺良子	上村美穂子	大川 悦子	大戸 幸江	大西 秀綱	蒲澤 広実	神田 華蓮	小島 美子	齊藤 節子	笹目 昭二	佐藤 京子	佐藤 広美	佐藤 芽衣	清水 勇志	進藤 靖子	鈴木 寿子	炭田 匡利	高尾 保利	千葉 美歩	利根川 啓子	教育部入賞者	上岡 陽佳	鮎田 芽依	横山 愛夏	関口 結心	倭 美緒	長谷依千夏	和氣 翠希	向後 実香	加藤 颯人	大輪 美釉	近藤 美南	菅野 伶美	服部 真実	谷田貝莉子	伊澤 駿	長 里桜	渡邊 葉乃	筒井 砂羽	住母家愛美	古作 愛子	鈴木 詩乃	西原 佳穂	長谷 大和	大庭 紗幸	小林 美心	若梅 陽菜	高橋 美礼	寺塚菜々花	宮崎 虹采	青柳ひより	久保 野枝	石崎 千咲	森 奏也	向後 咲希																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
上岡 陽佳	鮎田 芽依	横山 愛夏	関口 結心	倭 美緒	長谷依千夏	和氣 翠希	向後 実香	加藤 颯人	大輪 美釉	近藤 美南	菅野 伶美	服部 真実	谷田貝莉子	伊澤 駿	長 里桜	渡邊 葉乃	筒井 砂羽	住母家愛美	古作 愛子	鈴木 詩乃	西原 佳穂	長谷 大和	大庭 紗幸	小林 美心	若梅 陽菜	高橋 美礼	寺塚菜々花	宮崎 虹采	青柳ひより	久保 野枝	石崎 千咲	森 奏也	向後 咲希	大石 蒼馬	石間 梨聖	森田 航宇	小澤 魅穩	川又 心晴	川村 琉佳	小林 美玖	中野 優音	佐藤 初華	鈴木 伶菜	池澤 采星	網中 愛友	橋本 かな	渡辺 愛理	古川 想	福島 彩夏	青木 莉子	小林 莉瑛	村田 直輝	千葉 直輝	北原菜々子	齋藤 由弥	清水 滂音	原 淳太	宮崎 蒼空	高屋 桃江	澤部美乃里	生田日和季	谷田部泰喜	嶋田 遥香	山中 夏海	鈴木 夕理	向後 芽依	岩井 心琴	鈴木 月那	佐藤 花	大津あかり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
筒井 祐羽	原 ほなつ	三上 百菜	永井 耕静	大庭 成暁	澤野いろは	篠原 葵唯	村田 奏永	金子明日香	篠澤 琴音	石間 聖彩	川井 美颯	稲見 月星	川井 心晴	伊藤あかり	山木 暁	加藤 生奈	小原 彩結	篠原 史玖	栗城 弥侑	程塚 詩	秋山 桜典	鈴木 美光	坂本 愛心	安田 啓人	小松原紫月	青木 崇真	森 陽希	栗栖 拓人	櫻井 実空	中里 遥	菅谷 璃音	篠原 夏美	本郷 樹	大久保来美	横山 心春	吉川 鈴那	田口 美空	松本 司	松本 蒼介	添野 拓実	古口 琴葉	永吉 優奈	北村 優佑	笹森 隼	工藤 健斗	千葉 悠之	名塚 悠希	山田美咲希	海老澤斗亜	桂嶋 帆花	須藤 杏惇	小池 明穂	矢野 大護	鈴木 大護	金杉 柚奈	佐久間莉乃	新井 凜空	稲見 星空	加藤 雪乃	飯笹 日菜	村田 和心	荒木 結花	白土 琴音	三井 優花	白山 柊真	平塚悠太郎	大島 優太	杉山 圭汰																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
相原 一稀	伊藤 遙香	松丸 望	白井 絢音	圓山 祐梨	江野 姿藍	小野口颯希	渡辺 陽葵	高橋 健人	北原萌々子	相田 慶仁	山本 結夢	勝田ひかり	米川 実花	櫻井 獅	稲野辺泰良	瀧崎 丈翔	大石 希愛	利根川 直	山口 蓮花	山本 湊	遠藤 心絆	坂本 諒宗	山中 温人	黒澤 史義	中村 悠人	鈴木 楓乃	江波戸実歩	林 姫菜	大貫 海結	石鳥梨々愛	小野寺美和											ジョンソン オーレン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
服部ひかり	榎山 直志	伊藤 史織	坂本 琥探	篠原 唯人	上之段希優																							佳作																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

24 貞香会総合書展 選抜大作展

2023年度、各書展において輝かしい賞を受賞された方々による
選抜大作展を併催した。

〔出品者〕

岩崎 芳穂 (第74回毎日書道展 漢字I類 毎日賞)

鈴木 芳草 (第57回貞香書展 特別賞・審査会員推挙)

山崎 香彩 (第57回貞香書展 特別賞・審査会員推挙)

草色皆沙裏風光曉
正幽輕明揺京散都
豈麗仍浮吹緩苗難
轉輝一間葉本柔碧
疑煙彩入紅是日華
流耐可披襟對誰能
滿掬收赫聞撥芳客
為此尚淹留

岩崎芳穂先生

8尺×2尺×4

漢庭重少身宜退
落心困居跡可逃
趁伴入朝應老醜
尋春放醉尚麤豪
詩攜綵帛新裝卷
酒典緋花舊賜袍
曾在東方千騎上
至今蹀躞馬頭高

鈴木芳草先生

8尺×2尺×4

江南三月時方早田中田圻乾以
燠赤日當空無雲野一農夫
步趨歎聽杉之意奇特腕底
大月迫天力濃墨寫似雨蕉圖滿
紙淋漓雲墨色之蒼攜圖到第
會摩挲筆一看盡驚訝入手圓
風聲聲雨絨似見波濤湧青圓
古入畫月但畫雲渲染巧妙之
入神之君畫雨之著紙筆聲卻在
芭蕉裏何須懷素手噴千萬株
卻疑漢川急雨直如多卷圖烈日
忽遮蔽天年一葉野雲起

山崎香彩先生

6尺×2尺×4

第65回東方書展

会期 3月25日(月)～31日(日)
会場 東京都美術館

審査報告

第1部(漢字部) 審査員 根本泰邱

本展の出品数は、同人291作品(5)、準同人103作品(12)、一般公募226作品(14)、総合計620作品(31)の出品がありました。急激な出品数減に少し歯止めがかかったようです。()内の数字は前回展からの減少数です。当会からは、同人39作品、準同人6作品、一般公募一部16作品、四部1作品、合計62作品の出品でした。

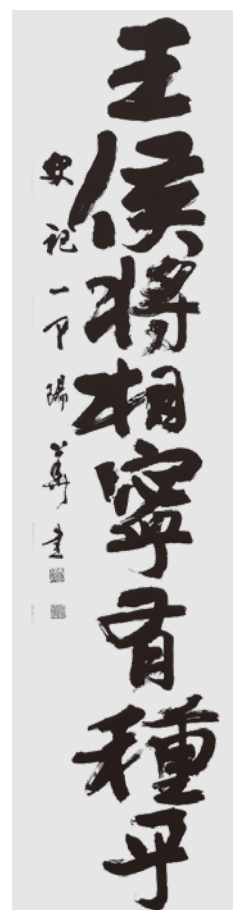
三月十六日(土)は一般公募の審査、十七日(日)は特別賞・同人推挙の選考が行われました。当会から選出された審査員は、特別賞・同人推挙選考を、中村素岳先生、赤平泰処先生、鈴木蓮徑先生、根本泰邱。公募一部を、光谷素仙先生、根本泰邱、三部を今井泰簗先生、四部を秋田谷岱空先生が担当されました。

公募一部の審査は例年通りで、まず、挙手による鑑別が行なわれ、入賞候補作品として40%程度の作品が残ります。続いての審査では、点数投票が行なわれ、合計点の多い順に誤字脱字の確認をされ、入賞作品が決定します。厳正な審査・選考の結果、当会より同人推挙に武内陽華さん、公募一部特選に青木香露さん、北村亭弘さん。褒状に阿部泰悠さん、鎌倉蘭徑さん。四部特選に峯岸妙観さんが入賞されました。おめでとうございました。(峯岸さんは、規定により準同人に昇格されます。)

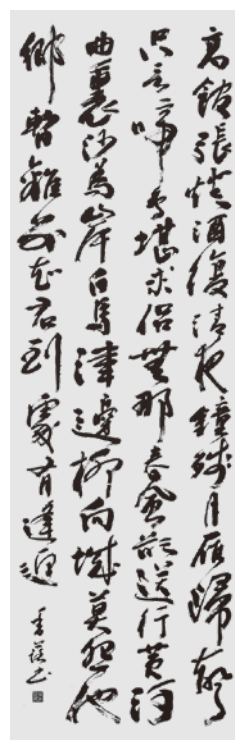
本展は、65回の記念展ということで、企画展示として「中國墨華玄妙展」が併催されました。理事長の谷村雋堂先生の収蔵作品で、明・清の著名な書家、王鐸、董其昌、文徵明らの貴重な作品が展示され、二十九日(金)には解説会も行なわれ、大盛況でありました。

第65回東方書展(優秀作品)

同人推挙 武内 陽華



第一部 特選 青木 香露



第一部 特選 北村 亭弘



第四部 特選 峯岸 妙觀



第65回東方書展 《ダイジェスト》

◎「同人推挙」受賞作品解説

3月25日(月)11時より展示場内にて、同人推挙受賞作品の解説が行われた。まず、受賞作品について、漢字・仮名・小字数それぞれの部門ごとに講評が始まった。先生方が作者



作品解説を受ける武内陽華さん

に質疑応答をしながら、受賞に輝いた着目すべき点(作品の構成や潤渇、余白など)を分かりやすく解説してくれた。貞香会より、同人推挙を受賞した武内陽華さんの作品について、東方書道院の谷村雋堂理事長は、全体として内容と文字とのバランスが自然に調和していることが受賞につながったと解説され、観覧者より祝福の拍手を受けた。大勢の来場者でにぎわい、盛況のうちに終了した。



受賞作品解説の様子

◎企画展示『中國墨華玄妙展』

東方書展では今年65回を記念して、企画展示『中國墨華玄妙展』が併催された。

これらは、谷村雋堂先生の所蔵する明・清代の書家(王鐸・董其昌・文徵明など)の貴重な作品群で、3月29日(金)には作品解説が行なわれ、大変見ごたえのある企画展示だった。



企画展示の様子

◎授賞式・懇親会



貞香会受賞者のみなさん

3月29日(金)11時より、美術館講堂にて授賞式が執り行われた。終了後は、貞香会受賞者のみなさんで記念撮影をし、喜びの笑顔が印象的だった。
同日17時より、美術館内レストラン『ミューズ』にて懇親会が開かれ、大勢の方が参加し、楽しく祝福の杯を交わしていた。

◎第65回東方書展 入賞者

同人推挙 武内 陽華

特選 第一部 青木 香露

第四部 峯岸 妙観

褒状 第一部 阿部 泰悠

鎌倉 蘭徑

北村 亨弘

◎昇格者

第65回東方書展受賞に伴い、東方書道院の規定において、次回展より昇格になります。おめでとございます。

「同人」 武内 陽華

「準同人」 峯岸 妙観

第65回東方書展 役員・審査員作品



中村素岳先生



赤平泰処先生



鈴木蓮徑先生



根本泰邸先生



高橋珠翠先生



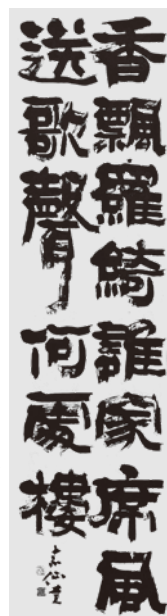
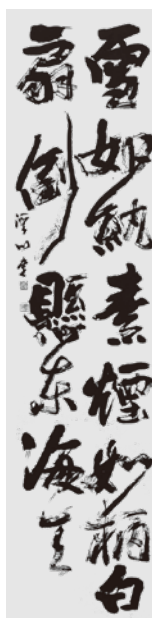
中村青藍先生



荒木大樹先生



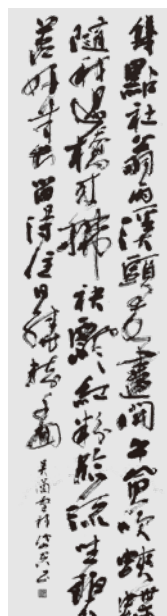
大塚澄心先生



光谷素仙先生



今井泰篁先生



秋田谷岱空先生

◎東方書道院役員・今年度審査員

〔最高顧問〕 中村 素岳

〔顧問〕 赤平 泰処

〔理事〕 鈴木 蓮徑 根本 泰邸

〔監事〕 高橋 珠翠

〔参与〕 中村 青藍

〔功勞者〕 荒木 大樹

〔評議員〕 大塚 澄心

〔第65回展審査員〕 根本 泰邸（第一部）

光谷 素仙（第一部）

今井 泰篁（第三部）

秋田谷岱空（第四部）

（敬称略）

第58回 貞香書展

会期 6月26日(水)～7月7日(日)
会場 国立新美術館

審査報告

審査員長 三浦 看山

本年度の出品点数は、審査会員数67、会員31、委嘱37、会友14、公募1部34、公募2部30作品、貞香会全体作品数213作品でありました。審査会は、令和6年6月16日(日)午前10時半より、国立新美術館地下1階の審査室で、13名の審査員によって公募部門1部、2部の順に行われ、特別賞、推薦選考会は、午後から行なわれました。

公募部門審査は、審査対象とする作品を鑑別審査で7割程度選び、その後会場に陳列されました作品を1部では会友作品を加えた作品を審査、のちに2部の作品の順に審査が行なわれました。集計し得点の上位から特選、準特選、秀作の作品が選出され、誤字脱字の確認後、入賞作品の決定を致しました。

審査終了後、特別賞・推薦選考会、公募部門審査会にてそれぞれの審査結果の報告。また今年は、永年出品されました方に功労賞を授与することになりました。

公募部門での入賞された作品は、多字数部門での作品が多い傾向です。また、臨書作品、小字数、詩文書作品もありましたが、ただ仮名の作品がなかったのが残念です。それぞれ意欲的、躍動感ある作品があり、今後益々努力精進を重ね、洗練された作品を期待します。

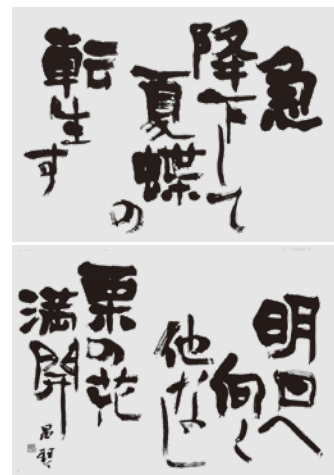


三浦看山先生

第58回貞香書展 (優秀作品)

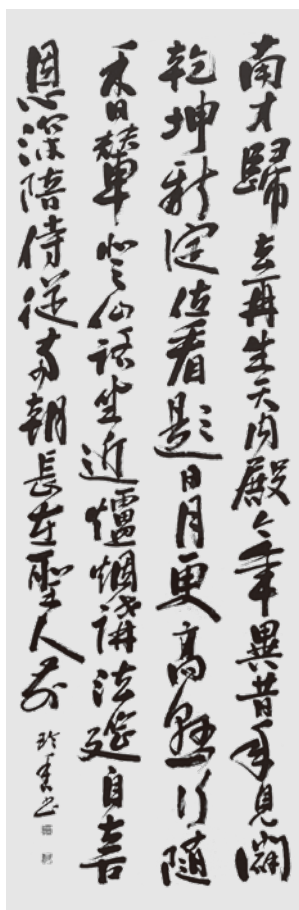
特別賞・審査会員推挙

佐怒賀昌琴



特別賞・審査会員推挙

鈴木玲香



◎昇格者

第58回貞香書展受賞に伴い、本会の規定において次回展より次の方が昇格になります。おめでとうございます。

審査会員	佐怒賀昌琴	鈴木 玲香
委 嘱	小山真裕美	小山 綾香
会 友	瀧澤 理子	中村 泰子
(会友候補含)		吉村 幸子
		渡邊 陽奈

第58回貞香書展 《ダイジェスト》

◎審査会

6月16日(日)10時より、国立新美術館地下1階の審査会場にて、第58回貞香書展審査会が会員・公募部門に分かれて厳正に行われた。



会員推挙審査の様子



公募部門審査の様子

◎授賞式



受賞者記念撮影

6月29日(土)11時より、美術館講堂にて授賞式が執り行われた。
赤平泰処会長より挨拶があり、光谷素仙理事長から審査講評と激励の言葉がおくられた。受賞者の方々は、祝福の拍手を受けながら壇上で賞状を授与された。最後に記念撮影を行うなど、受賞者は終始喜びの笑顔が絶えなかった。

第58回貞香書展受賞者

■特別賞・審査会員推挙

■功労賞

■推薦・会員推挙

■公募1部

特選

(漢字多字数部門)

小山真裕美

原 美鈴

小山 綾香

準特選

(漢字多字数部門)

中村 泰子

渡邊 智香

高橋 柳瑛

(漢字少字数部門)

吉村 幸子

奥戸 聖斗

中上 和美

(漢字多字数部門)

井上かれん

大嶋 碧

古口 歩佳

(漢字少字数部門)

香取 綾乃

松本 千尋

早川 美沙

(漢字多字数部門)

遠藤 史江

伊草かおり

間瀬 詩音

(漢字少字数部門)

内山 富美

市村 星華

江浦 蓮

(漢字多字数部門)

渡邊 陽奈

市村 星華

江浦 蓮

(漢字少字数部門)

佐藤 朔夜

市村 星華

江浦 蓮

(漢字多字数部門)

大塚可南子

泉田 絢音

中野 優音

(漢字少字数部門)

上野 心音

泉田 絢音

中野 優音

(漢字多字数部門)

太田 信子

米山 聖

岡本さつき

(漢字少字数部門)

高木 唯華

高橋英美子

岡本さつき

(漢字多字数部門)

芳田 晏奈

高橋英美子

岡本さつき

(漢字少字数部門)

山口 和彦

高橋英美子

岡本さつき

(漢字多字数部門)

永井 泰幸

山本 幸三

栗栖 香綾

(漢字少字数部門)

山崎 虹心

廣田 陽花

栗栖 香綾

(漢字多字数部門)

鈴木 清美

湯本 藍衣

栗栖 香綾

(漢字少字数部門)

吉岡 紀子

ローゼンフェルド朋子

栗栖 香綾

(漢字多字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字少字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字多字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字少字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字多字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字少字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字多字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字少字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字多字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字少字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字多字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字少字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字多字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

(漢字少字数部門)

二村 夏美

佐藤 芽衣

武田ゆりあ

第58回貞香書展 《ダイジェスト》

◎講演会



講師・鍋島稲子先生

6月26日(水)11時より、美術館講堂にて、特別講演会を開催した。講師に台東区立書道博物館館長の鍋島稲子先生をお招きし、演題の「呉昌碩と日本人」についてご講演を賜った。清末の文人・呉昌碩の生誕百八十年を記念し、書画・篆刻等に優れた才能をもった呉昌碩の生涯と親交が深かった日本人を中心にたくさん資料をスクリーンに映しながら解説していただいた。鍋島先生のお話は興味深いエピソードばかりで、90分の講演会はあっという間に過ぎ、聴講生は熱心に聞き入っていた。

◎席上揮毫

6月26日(水)14時より、美術館講堂にて、荒木大樹顧問・飯野彩心理事・石原翠山評議員による席上揮毫が行われた。個々の作品に加え、今回はじめてコラボレーションによる揮毫に挑戦。まず書体を変えてそれぞれ干支の「龍」を揮毫し、3名による合作「麟鳳遊」を披露すると、会場から拍手と大歓声が上がった。



荒木大樹先生



飯野彩心先生



石原翠山先生



3人合作による作品「麟鳳遊」

◎役員小作品展併催



役員小作品展

本年は、会長・理事・監事・評議員の先生方による小作品が、展示休憩室に飾られた。墨や料紙に工夫を凝らした篆隸・行草・仮名などの多彩な作品が壁一面をいろどり、来場者の方々は楽しみながら鑑賞されている様子がうかがえた。

◎ギャラリートーク

6月29日(土)14時より、展示会場にて中村青藍顧問による作品解説が開催された。大勢の来場者が集まり、まず特別賞・審査会員推挙を受賞された佐怒賀昌琴さん、鈴木玲香さんの作品について講評をされた。続いて、参加された受賞者の作品について、ご本人と質疑応答を交わしながらギャラリートークが進行、終始にぎやかであった。



作品解説の様子

◎懇親会



懇親会の様子

6月29日(土)18時より、銀座ホテルモントレにて懇親会が開かれた。司会者より参加された受賞者にインタビューを行うと、皆さんうれしそうに喜びのコメントを語った。恒例の抽選会では、大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごした。

第75回 毎日書道展

会期 7月10日(水)～8月4日(日)
会場 国立新美術館・東京都美術館

審査報告

漢字部Ⅰ類 当番審査員 光 谷 素 仙

第75回毎日書道展記念展が盛大に開催されました。今年は公募、会友、会員以上の役員あわせて約27000点の出品がありました。今年から字数変更がなされ、漢字部Ⅰ類が15字以上、Ⅱ類が2字以上14字以下となりました。

本年度の貞香会の出品数は、公募はⅠ類51点、Ⅱ類36点の計87点、また会友はⅠ類33点、Ⅱ類5点の計38点で合計125点でした。昨年より4点減です。またU23はⅠ類16点、Ⅱ類10点の計26点でした。

公募作品の審査は例年通り、5月に入・落選を決めるマクリでの鑑別審査があり、貞香会は公募作品入選率43・7%、U23入選率38・5%と低迷し残念な結果でした。6月に入賞審査(審査対象が公募作品のうち、優秀な入選作品と会友作品)が行われました。いずれの審査も1作品、5秒に満たない瞬間的評価で行われ、短い休憩をわずかにさみですが、作品数が多く緊張した状態でかつ長時間に及ぶ審査で集中力の継続が大変でした。入賞審査は前もって入賞数が割り振られていましたが、公募作品審査同様に点数が伸びず芳しい結果ではありませんでした。また誤字・脱字のチェックが厳しく、入賞作品(毎日賞、秀作賞、佳作賞)すべて審査員確認が行われました。

評価の高かったのは、行草多字数で行間がすっきり取れ、隸書は横並びを揃えた空間の処理のすぐれた作品でした。それに加えて、行草では潤渇、字の大小、線の太細、縦長・横長の字の組み合わせが効いた構成の優れた作品が選ばれていました。古典を学ぶことを振り返りながら基礎力をつけること、会の出品点数を増やすことを含めて勝ち抜くための対策を講ずることの重要性を痛感しました。会員の皆様一人一人の奮起を期待いたします。



光谷素仙先生

第75回毎日書道展 入賞・入選者

【受賞者】

漢字部Ⅰ類

会員賞 三浦 看山
毎日賞 青木 香露
秀作賞 岩崎 芳穂
佳作賞 江藤 静蘭
横張 瑞泉
奥備 愛

U23奨励賞

奥備 愛

【入選者】

会友漢字部Ⅰ類

海野 杏徑
小澤 茜逕
鈴木 玲香
富田 希
樋口 泰仙
山崎 香彩

江原 覺堂
北井 杏怜
関口 恵子
中田 翠苑
二木 秀蔭
渡辺 蒼秀

海老原綵翎
倉石 芳園
高橋 桂和
永井 静軒
細田 香瑤
渡辺 蘇心

大石 翠雨
下川 柳瑛
高橋 碧水
浜瀬 秀穂
光田 萌苑
渡邊 萌苑

市川 賀雪

稲田 珪堂

清水 天悠

保坂 登志

和田 芳華

会友公募漢字部Ⅱ類

岩崎 芳穂
樋口 泰仙
山崎 香彩

海野 杏徑
小澤 茜逕

関口 恵子

中田 翠苑

公募漢字部Ⅰ類

浅野 照雄
草間 篁山
高木 春嶺
中東 敬子
星野 玲香

阿部 泰悠
小山 綾香
田口 和美
長瀬 亮一
松下 彩虹

伊藤ゆうか
佐藤 穂徑
田辺 由美
長畑 裕子
峯岸 妙観

浦野 西萌
杉山 桃月
壺井 翠櫻
根布谷 翠紅
村山 順子

荒井 翔雲

塩野 洋子

関根 熙雲

森 梅蓉

鎌倉 蘭徑
鈴木 英男
中島 翠音
福田 柳嶺

大嶋 碧

大塚可南子

桃澤 未宥

古口 歩佳

塩濱 花菜

滋野 綾菜

渡邊 智香

大村 義彰

江浦 蓮

江浦 蓮

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

大村 義彰

江浦 蓮

◎昇格者

第75回毎日書道展受賞および毎日書道会の規定において、次の方が昇格されました。おめでとうございます。

審査会員 三浦 看山

第75回毎日書道展《ダイジェスト》

◎奥山泰嶺先生会員賞昇格祝賀会開催

令和6年5月19日(日)、上野・精養軒にて、奥山泰嶺先生の毎日書道展会員昇格祝賀会が開催された。祝宴では、能楽界の重鎮・石田幸雄様と中尊寺の破石晋照様によるお祝いの演目が披露され、貴重な鑑賞の機会を得ることができ楽しい祝賀会であった。



◎三浦看山先生会員賞受賞祝賀会開催

令和6年9月12日(木)、東京プリンスホテルにて、三浦看山先生の第75回毎日書道展会員賞受賞祝賀会が開催された。祝宴では、三浦先生の御子息・正順様によるクロマチックハーモニカとピアノとのアンサンブルの演奏が披露され、終始和やかで楽しい祝賀会であった。



◎第75回毎日書道展審査報告

会員賞選考委員 赤平泰処

三浦看山さん、会員賞(グランプリ)受賞おめでとうございます。

この度の選考委員会は、7月2日・3日にわたって行われました。漢字部は、会員九九九点出品のうち選考有資格者七九二点で、貞香会の作品も一点一点丁寧に審査されました。

選考は、幾度にも及び、誤字チェックも実施されました。そうして、漢字部としての候補作が選考され、最後に全選考委員の投票によって、上位から決定されたのが会員賞です。

看山さんの作品は、この難関を突破され、見事に栄冠に輝きました。全体の構成力・線の強さが際立つ明るく清爽な作と評価されました。これらの貞香会のあるべき書の姿を打ち立てられたこと感謝しかありません。今後ますます精進され、新たな書の世界を歩まれんことを願っております。



赤平泰処 先生

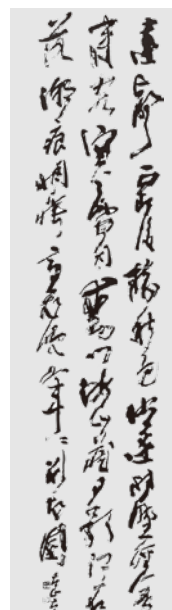
◎表彰式

7月21日(日)13時より、ザ・プリンスパークタワー東京にて第75回毎日書道展の表彰式が執り行われた。

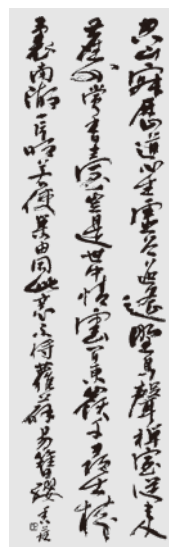


第75回毎日書道展(優秀作品)

会員賞 三浦 看山



毎日賞 青木 香蒨



◎第75回毎日書道展役員

理事・会員賞選考委員・巡回展実行委員長

.. 赤平 泰処

参与会員 .. 中村 素岳

漢字部I類当番審査員 .. 光谷 素仙

総務部委員 .. 高橋 珠翠 大塚 澄心 加地 香泉

今井 泰篁 飯野 彩心

審査部委員 .. 鈴木 蓮徑

陳列部委員 .. 根本 泰郎(副部長) 飯野 柳和

第75回毎日書道展《ダイジェスト》

◎東京展特別展示「墨魂の群像」

第75回毎日書道展の記念事業として、特別展示「墨魂の群像―毎日の書48人」が国立新美術館にて開催された。毎日書道展を牽引し活躍した、昭和後期から平成末までの書家の作品が一堂に飾られ、中村素堂先生（大正大学所蔵）の作品が展示された。



中村素堂先生

◎第75回記念毎日現代巡回展

毎日書道展の第75回展記念事業の一環で巡回展が企画され、赤平泰処会長（毎日書道会理事）が巡回展実行委員長に就任。神奈川、静岡、群馬、豊田、鹿児島、の5ヶ所にて開催され、毎日書道会役員の作品が各地を巡回し、また現地書家の作品も展示、席上揮毫や作品解説などのイベントも実施され盛り上がった。



赤平泰処先生

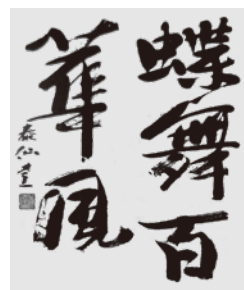
◇神奈川展

会期 3月16日(土)～3月24日(日)
会場 横浜そごう美術館

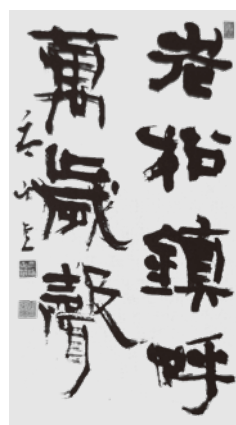
神奈川展に、光谷素仙理事長、三浦看山先生、樋口泰仙先生が出品。



光谷素仙先生



樋口泰仙先生

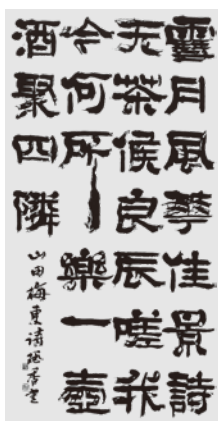


三浦看山先生

◇静岡展

会期 4月16日(火)～4月21日(日)
会場 静岡県立美術館・静岡市民文化会館

静岡展に、半田桃香先生が出品。



半田桃香先生

※豊田展（愛知）、鹿児島展の情報につきましては、毎日書道会のホームページをご覧ください。
<http://www.mainichishodo.org>

◇群馬展

会期 10月4日(金)～10月9日(水)
会場 高崎シティギャラリー



10月5日(土)午後1時より、高崎シティギャラリーの展示会場にて、赤平泰処先生が作品解説を行なった。多くのギャラリーの前で、理事の先生方の作品について、見どころを楽しく解説された。群馬県は、上毛三碑（多胡碑・山ノ上碑・金澤碑）のある県としても知られ、帰りに立ち寄り見学した参加者の方もいた。

◎東北山形展

会期 10月16日(水)～10月20日(日)
会場 山形美術館

毎日書道展は、東京展をはじめ、北海道・東北仙台・東北山形・北陸・東海・関西・中国・四国・九州展の9カ所にて開催される日本最大の公募展である。今年は、赤平泰処先生が、10月16日(水)午前10時より、東北山形展のオープニングセレモニーにて席上揮毫をされた。朝早くから大勢観客が集まり、華やかに東北山形展がスタートした。



山形県在住で大正大学卒業生の佐藤泰軒さんと大島（旧姓：情野）美和子さんもかけつけて、赤平先生と久しぶりの再会にとっても懐かしんでいた。

掲載散歩

書の世界

金子雄平

2024年度、毎日新聞などに掲載された記事をご紹介します。

第58回貞香書展(7月7日まで、東京・六本木の国立新美術館3A)は幹部書人の覇気に注目したい。

赤平泰処さん「鐵樹開花」

(碧巖録) 同4。端正な作風で知られる人の、言葉通りのまさに「まれな」作品。悠然とした大きな構えの運筆に圧倒される。渴筆の迫力は尋常でない。たっぷりとした気が注入されている。

中村青藍さん「鷗聞鶴散」 同5。潤濁織り交ぜた線の推進力。文字の連なりが計算されている。



4



5

奥山泰領さん「劍輪輟苦 鯨音無邊」 同6。中尊寺梵鐘銘一句。一字一字、ていねいに心を込めて筆が運ばれ、仏教者としての強い祈りが伝わってくる。

ほか、若井香樹さん「太古の風触によって……」▽光谷素仙さん「斗室香添小篆煙……」▽根本泰邸さん「松泉多清響……」など。

【桐山正寿】

毎日書道 2024年(令和6年)9月30日 掲載

毎日書道 2024年(令和6年)4月1日 掲載

「書は哲学的思考で」 「篆書」「隸書」の風格作

貞香会総合書展



作品に見入る人々

貞香会総合書展が1月20日から26日まで東京・上野の東京都美術館で開かれた。近代を代表する書家で歌人でもある中村泰堂が書文化を研究するため1923年に創設した歴史ある団体。篆書と隸書を中心とした風格のある作品が並んだ。

会長の赤平泰処さんは「杜口風塵外 安心筆墨間」の五言一句を威厳ある筆致で書き、光谷素仙理事長は「周鼎句」、中村泰岳さんは「見賢思齊」、荒木大樹さんは「頤」を出品した。

赤平さんは「泰堂先生はコンクリートなどの建物の中に飾って映える書を硬質の書と呼んだ。字がうまくいだけではだめで、書は哲学的な思考をもって書くべきだとも説いた。私たちがそうした方向を目指しています」と話した。

「中国研修視察団」が展覧会 思い出語り、旧交温める

今年も毎日書道展の時期に合わせ、過去の毎日展受賞者から選抜された「中国研修視察団」が展覧会を開いた。団員たちは互いの上達を励まし合いながら旅の思い出を語り、旧交を温めた。

■飛泰書展
第58回展の視察団による4回目の書展で、7月16日から21日まで、東京・銀座



笑顔の飛泰會メンバー

毎日書道 2024年(令和6年)7月20日 掲載

力強い筆致の 漢字作そろそろ

第58回貞香書展

第58回貞香書展が6月26日から7月7日まで東京・六本木の国立新美術館で開かれた。

赤平泰処さん「鉄樹開花」、中村泰岳さん「塵外孤標」、荒木大樹さん「無量寿経句」、光谷素仙さん「張實居詩」など力強い筆致の漢字作がそろった。揮毫会やギャラリートークも開かれた。

赤平さんは「若い人が失敗を恐れずに挑戦する作品が目立つようになった。各自が古典を消化して新しいものを作っている」と評価した。



書家の筆さばきが分かる揮毫会

第58回 貞香書展

●6月26日～7月7日
●国立新美術館

「鹿外孤標雲間獨歩」(舊唐書) 顧問 中村素岳

斗室香深小篆煙
一燈靜對孤松
忽驚萬葉半雲侵骨
清冷竹葉清山皓然

白樂天詩 副理事長 坪内雪山
張實居詩 理事長 光谷素仙

創立100年を迎えた貞香会の本展。創設者中村素堂が信託した「硬質の書」を継承追求する姿勢は各作の根底に流れている。そんな作品群から13点を掲載した。赤平泰延会長は「一気呵成に書いた四字句。会員への鼓舞とを許さないのではないかな。光谷素仙理事長は終始自分のリズムを刻み、一切ぶれないところがいい。坪内雪山は単体のなるが、余白の効果も見せている。鈴木運徑の書きぶりは爽快。思い切った筆の運びが字に活力を与えている。今井泰範独自のセンスも同展では欠かさない存在。今作は雑に見えるところもあるが、狙いはよくわかる。海野蒼秀の四行には統一感があるが、各字にはかたりの動きがあり、呼応している。」(篠原)

井上靖詩「白龍堆」一節 参与 若井香樹

鐵樹開花 (碧巖録) 会長 赤平泰延

鐵樹開花

我建超世願
必至無上道

無量寿経句 顧問 荒木大樹

必至無上道

「鷗聞鶴散」 顧問 中村青藍

魚車車苦魚香線邊

中尊寺梵鐘銘一句 参与 奥山泰領

根本泰郎の五言二句は大きな動きの中に、線の太細、運筆の緩急が巧みに潜んでいる。飯野彩心は隸書を円状にまとめた努力作。落款がやや気になるが、余白の効果も見せている。鈴木運徑の書きぶりは爽快。思い切った筆の運びが字に活力を与えている。今井泰範独自のセンスも同展では欠かさない存在。今作は雑に見えるところもあるが、狙いはよくわかる。海野蒼秀の四行には統一感があるが、各字にはかたりの動きがあり、呼応している。」(篠原)

道徳經
翻晉永味書
家好事例傳記
至今似帶戴之
癖風俗却之愛
養鷺

宣慎行詩 事務局次長 飯野彩心

松風多情柳音
舊時鏡古意

五言二句 副理事長 事務局次長 根本泰郎

日烟呼楚奇
蒼鮮細池開

趙汝回句 理事 今井泰範

漢主離宮樓閣臺基山川草木
皆是唐風宋韻
新皇東顧
極看川人度苑
遙想時時開道
如來佛殿
即覺吾人
在焉

王維詩 理事 海野蒼秀

毎日新聞 2024年(令和6年)10月27日 愛知版掲載

毎日新聞 2024年(令和6年)7月13日 掲載

会員賞 2人受賞

毎日書道展

国内最大の書道展、第75回毎日書道展(毎日新聞社、毎日書道会主催)でグランプリに当たる会員賞が決ま

り、県内からは漢字部門で三浦市の三浦看山さん(76)とかな部門で川崎市麻生区の長沼玲子さん(62)が受賞した。作品に込めた思いや喜びを聞いた。

起承転結を大切に 漢字部門・三浦看山さん



受賞作は「秋晚郊居」。直感的に選んだという40字の詩で、「秋が更けて霜が降りてくるような時期に、夕日が沈んでいく様子をイメージしながら書きました」と振り返り、受賞を喜んだ。

大学卒業後、三浦市役所に約30年間勤めた。父の他界後、後を継ぐ形で光臨寺の住職になった。書道は、塔婆を上手に書くために、大学で始めた。所属した書道研究部で生涯の師となった書道界の重鎮、中村素堂先生(享年81)のもとで練習に励んだ。「博学で人格も素晴らしい先生でした。」(矢野大輝)

「起承転結を大切に」と語る。今後については「中村先生から指導いただいたものを、これからも作品に生かしていきたい」と話した。

毎日書道豊田展 祝賀会にぎわう
出品者ら10人参加
毎日書道展第75回記念
毎日現代書巡回展豊田展 祝賀会
毎日新聞社・毎日書道会・愛知県豊田市・同市文化振興財団主催の祝賀会が26日、同市のホテルトヨタキヤッスルであり、関係者や出品者ら約700人が参加した。豊田展は27日まで市美術館と市民文化会館で開催されている。入場無料。



祝賀会あいさつする巡回展実行委員長の赤平泰延さん(豊田市)

巡回展は神奈川、静岡、群馬、鹿児島、愛知の5会場で開催。実行委員長の赤平泰延・毎日書道会理事は「5会場どこも活気があった。豊田展の児童・生徒のはがき展を見ると、書の将来が明るく感じられる。この勢いを76回展につなげてほしい」と激励した。

豊田展は「現代中国作家展」など特別展示のほか小中高生の書道はがき作品展」も併設している。

【水野裕子】

洗碑会

令和6年5月2日(木)、小石川伝通院に於いて第29回洗碑会が行われた。前日は冷たい雨と強風の荒れた天候だったため、当日の天気が心配されたが、まさに風薫る五月の晴天に恵まれた中での開催となった。

貞香会役員と、古くからの柿木会会員大島様と中村素堂先生とご縁の深い富井様が参加くださった。お二人とも『書範』で洗碑会の開催を知り、足を運んでくださったとのこと嬉しい限りである。

定刻の4時30分より今井泰篁理事の開会の言葉に続き、荒木大樹顧問から碑の建立にまつわるお話を交えたご挨拶をいただいた後、代表者による洗碑の儀となった。その後、全員で菩薩願行文、般若心経を唱え、西日の眩しい中での記念撮影を行い閉会となった。



中村素堂先生の作品鑑賞

今年は、荒木大樹顧問が中村素堂先生の若いころの作品をお持ちくださり、拝見する機会に恵まれた。和綴じ本に仕上がった昭和3年(素堂先生・27歳)作の行書体「四時読書樂帖」と、昭和11年(35歳)作の楷書体「日本刀歌(歐陽脩詩)」、昭和18年(42歳)作の「夜

梅詩」を書いた染付皿の3点である。一〇〇年近くの歳月を経たとは思えない保存状態の良さにも驚いたが、晩年の素堂流と言われる書体とは異なり、とてもすっきりとした美しい線で書かれた作品で、拝見者からは「綺麗!」と感嘆の声が上がり、「書の手本に良いね」との意見が出ていた。書範部の方で検討していく必要があるそうだ。

(加地香泉記)



参加者による記念撮影

〈2024年度事業報告〉

■主な展覧会

○2024年度定期総会

日時…2024年1月24日(水)15時～
会場…東京都美術館講堂

○'24貞香会総合書展

会期…2024年1月20日(土)～26日(金)
会場…東京都美術館

○第65回東方書展

会期…2024年3月25日(月)～31日(日)
会場…東京都美術館
企画展示…「中國墨華玄妙展」

○第58回貞香書展

会期…2024年6月26日(水)～7月7日(日)
会場…国立新美術館

○第75回毎日書道展 東京展

会場…国立新美術館
会期…前期展Ⅰ期2024年7月10日(水)～7月15日(月)
前期展Ⅱ期2024年7月17日(水)～7月22日(月)
後期展Ⅰ期2024年7月24日(水)～7月29日(月)
後期展Ⅱ期2024年7月31日(水)～8月4日(日)
会場…東京都美術館
会期…2024年7月18日(木)～7月24日(水)

■洗碑会

日時…2024年5月2日(木)16時30分～
会場…傳通院(文京区小石川3-14-6)
内容…創設者中村素堂先生の記念碑『如是我聞』を洗い清める行事

■鍊成会

日時…2024年2月17日(土)・18日(日) 9時～17時
会場…鷺毛堂鍊成会場(さいたま市南区文蔵4-27-3)
内容…毎日書道展・貞香書展に向けての作品制作

■貞香会後援の展覧会

○松本宜響書道展 並びに一門展

会期…2024年9月16日(月)～9月18日(水)
会場…栃木県総合文化センター

○第38回西蓮会書展

会期…2024年10月11日(金)～10月15日(火)
会場…銀座かねまつホール

○第55回墨光書展

会期…2024年10月17日(木)～10月20日(日)
会場…春日部市民文化会館

※この他、貞香会会員が活躍する展覧会の情報は、貞香会ホームページのインフォメーションにて掲載しています。
詳しくは、そちらをご覧ください。

〈2025年度行事予定〉

■主な展覧会

○2025年度定期総会

日時：2025年1月29日(水)11時～
会場：東京都美術館講堂
※会員の方には後日お知らせいたします。

○'25貞香会総合書展

会期：2025年
1月21日(火)～1月26日(日)
会場：東京都美術館
授賞式：2025年1月25日(土)
懇親会：2025年1月25日(土)
席上揮毫：2025年1月26日(日)
※詳細は出品規定にてご確認ください。
※授賞式の案内は、出品者に後日お知らせいたします。

○第66回東方書展

会期：2025年
3月25日(火)～3月31日(月)
会場：東京都美術館
☆企画展示：「中國名家楹聯展」
同人推挙作品解説：2025年3月25日(火)
授賞式：2025年3月30日(日)
企画展示解説：2025年3月30日(日)
懇親会：2025年3月30日(日)
※詳細は開催要項にてご確認ください。
東方書道院ホームページ
www.tohoshodouin.com

○第59回貞香書展(予定)

会期：2025年
6月25日(水)～7月6日(日)
※休館日 7月1日(火)
会場：国立新美術館3A
講演会
席上揮毫
ギャラリートーク
授賞式
懇親会
――― 後日お知らせいたします。

○第76回毎日書道展 東京展(予定)

会場：国立新美術館
会期：2025年
7月9日(水)～8月3日(日)
会場：東京都美術館
会期：2025年
7月18日(金)～7月24日(木)
表彰式：2025年7月20日(日)13時～
ザ・プリンスパークタワー東京
※各地方展については、毎日書道会のホームページをご覧ください。
毎日書道会ホームページ
<http://www.mainichishodo.org>

■毎日書道展下見会(予定)

日程：2025年4月21日(月)
会場：未定
※会員の方には後日お知らせいたします。

■洗碑会

日時：2025年5月2日(金)
16時～ 受付
16時30分～ 洗碑会
会場：傳通院(文京区小石川3-14-6)
内容：創設者 中村素堂先生の記念碑「如是我聞」を洗い清める行事
毎年、中村素堂先生の誕生日に開催しています。どなたでも参加できます。
ぜひ、ご参集ください。

■鍊成会

日程：2025年
2月8日(土)・9日(日)9時～17時
会場：鷺毛堂鍊成会場
(さいたま市南区文蔵4-27-3)
内容：毎日書道展・貞香書展に向けての
作品制作

■貞香会後援の展覧会

○第5回素心会書展

会期：2025年
3月25日(火)～3月30日(日)
会場：銀座洋協ホール

○第39回西蓮会書展

会期：2025年
10月10日(金)～10月14日(火)
会場：銀座かねまつホール

○第56回墨光書展

会期：2025年
10月15日(水)～10月19日(日)
会場：春日部市民文化会館

〈事務局だより〉

◇年会費について

2024年度以前の年会費が未納の方は、お早めにお振込みをお願いします。

2025年度年会費の振込用紙は、後日お送りいたします。

◇第59回貞香書展の作品締切

2025年度は、5月12日(月)～5月16日(金)までを予定しています。

必ず開催要項でご確認の上、各表具店に作品を搬入してください。

締切厳守でお願いします。

◇住所変更について

住所・連絡先など変更がある方は、貞香会事務所までFAXまたはハガキなどの書面にてお知らせください。

◇会員の方の関係書道展について

会員の皆さまが活躍する書道展や催しものなどの情報を、貞香会広報部までお寄せください。展覧会の案内ハガキなど詳細をメールにて添付いただければ、貞香会ホームページのインフォメーションに掲載いたします。

Eメールアドレス teikokaikoho@gmail.com (担当：飯野彩心)

◇ご意見・ご要望など

貞香会に関連する展覧会や行事などで、会員の皆さまよりご意見・ご要望などありましたら、貞香会事務所まで書面にてお寄せください。

❖表紙「墨」…中村素堂先生作品「祭墨」より

【編集後記】

❖二〇二四年元日、能登半島地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

今年も会員の皆様のご協力のおかげで、総合書展と貞香書展を開催することができました。貞香会会報第十四号をお届けいたします。今後も会員の皆様のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

❖二〇二四年夏にパリオリンピックが開催され、日本代表選手の活躍が話題となりました。我が貞香会では、三浦看山先生が毎日書道展でグランプリを受賞され、これぞ「貞香の書」をお示しく下さいました。誠にめでとうございます。スポーツも芸術も追いつめる姿にただただ感動です。

❖二〇二四年の話題の一つに、大リーガー大谷選手の活躍があります。数々の大リーグ記録を塗り替え、歴史に残る活躍を見せている姿は、我々に感動を与え、心を潤してくれます。

今回の会報を通して皆さんの作品や活躍にも感動し、潤った心のまま、心豊かに書道に臨んでいきたいです。

❖今年、毎日書道展の特別展示に中村素堂先生の作品「出厩良駒」が展示されました。大学に勤めていた頃、この作品を理事長室で拝見し、その時は何を書いてあるかわかりませんでした。とてつもないパワーを感じ、作品の前で釘付けになっていたことを懐かしく思い出します。「書は人の心を惹きつける」を改めて肝に銘じました。

令和六年度(二〇二四年)

会報《第十四号》

発行日 令和六年十二月三十一日(火)

編集・発行 貞香会

東京都江東区新大橋一・五・四・二二一
根本方

印刷・製本

電話〇三(六二八四) 〇四六六
有限会社エム・ジーケー
栃木県下野市本吉田七六三・八
電話〇二八五(四八)二四六七

